

## 事業報告

### I 事業の概況

本公益財団法人は、岡山県における理工学に関する研究を振興するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携を図り、もって学術及び技術開発の進展に寄与することを目的として以下の事業を実施した。

#### 1 事業の実施状況

##### 1. 学術研究助成事業

公益目的事業 1 に掲げる事業は次により行った。

###### (1) 事業の目的

岡山県下における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

###### (2) 事業の概要

###### イ) 学術研究助成の対象

理工学の学術分野の基礎及び応用研究であって、研究者が 1 人で行うもの、または 2 人以上の研究者が同一の研究課題について共同で行うもの。

###### ロ) 研究助成の種目と助成額

###### A) 内山勇三科学技術賞

内山工業(株)元会長故内山勇三氏の寄附金により設けたもので、特色ある先導的な研究を対象とする。

2 件	1 件	200 万円	400 万円
-----	-----	--------	--------

###### B) 岡山工学振興会科学技術賞

一般研究 特色ある研究を格段に発展させるための研究を対象とする。

2 件	1 件	80 万円	160 万円
-----	-----	-------	--------

奨励研究 37 才以下の研究者が主体的に行う研究で、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究を対象とする。

5 件	1 件	40 万円	200 万円
-----	-----	-------	--------

###### ハ) 募集方法

岡山県下の大学理工系学部及び高専、研究機関に 3 月初旬公募要項を配布（財団ニュース 95 号及び財団ホームページに掲載）5 月 7 日に締切った。

###### ニ) 選考方法

研究分野による専門委員の選考と併せ選考委員会において選考した。

ホ) 研究助成応募状況

種 別		応募数	採択数	採択率	備考
内山勇三科学技術賞	特別研究	4 件	2 件	50 %	
岡山工学振興会科学技術賞	一般研究	15	2	13	
	奨励研究	9	5	56	
計		28	9	32	

(3) 研究助成採択課題と研究代表者

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額 万円
内山勇三 科学技術賞 特別研究	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 准教授	押谷 潤	粒状廃棄物からの有価物回収に向けた新規乾式比重分離技術の開発	200
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 准教授	金山 直樹	変異能力を有したB細胞を用いた革新的なヒト型抗体作製技術の開発と抗体医薬創薬への応用	200
岡山工学振 興会科学技 術賞 一般研究	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 (医学系) 講 師	松浦 宏治	運動精子に関するマイクロデバイスの臨床前試験	80
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 教 授	徳光 浩	タンパク質リン酸化酵素を分子標的としたシグナル伝達創薬研究	80
岡山工学振 興会科学技 術賞 奨励研究	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 助 教	原 直	地理情報を活用した音声対話システムのための対話設計手法に関する研究	40
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 助 教	前田 千尋	カルバズール骨格を有する拡張ポルフィリン開発と機能化	40
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 特任助教	増田 潤子	生体外におけるヒト造血幹・前駆細胞の増幅法の開発とその応用	40
	岡山理科大学 工学部 講 師	二見 翠	肝細胞培養をモデルとしたカチオン化タンパク質導入法の細胞加工技術への発展	40
	岡山県立大学 情報工学部 准教授	福田 忠生	小型試験片を用いた非接触材料強度特性評価法の開発	40

## 2. 国際研究集会等派遣の助成

公益目的事業2に掲げる事業は次により行った。

### (1) 事業の目的

岡山県下の大学及び研究機関等の優れた研究者等を、国外で開催される理工学分野の先端技術に関する研究集会に派遣することにより、その専攻する学術研究成果についての発表、情報収集、交換等の活動を援助することを目的とする。

### (2) 助成対象の研究集会

外国で開催される国際研究集会で国際的に権威のある学会、学術団体、又は学術研究機関等が主催するもの。

### (3) 国際研究集会等派遣助成実績

次の国際研究集会8名に対し、70万円の助成を行った。

部 局	職	氏 名	研 究 集 会 名	開 催 地
岡山大学大学院 自然科学研究科	准教授	大久保貴広	吸着のナノサイエンスとナノテクノロジーに関する国際シンポジウム	中国 漳州市
岡山大学大学院 自然科学研究科	助教	矢納 陽	第39回アイ・トリプル・イー産業エレクトロニクス分科会年次会議	オーストリア カイザーミュレン
岡山大学大学院 自然科学研究科	助教	今中 洋行	第23回アメリカペプチドシンポジウム	アメリカ ハワイ
岡山県立大学 情報工学部	助教	石井 裕	第15回人間とコンピュータのインタラクションに関する国際会議	アメリカ ラスベガス
岡山理科大学 理学部	講師	城ヶ原貴通	第11回国際哺乳類学会	イギリス ベルファスト
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生	王 宁	第1回天然化学分子に関するヨーロッパ会議	ドイツ フランクフルト
岡山理科大学大学院 工学研究科	学生	水谷 祐介	第1回天然化学分子に関するヨーロッパ会議	ドイツ フランクフルト
岡山県立大学大学院 情報系工学研究科	学生	大和 龍紀	ガDEST 2013	イギリス オックスフォード

## 3. 学術研究集会、学術講演会の助成

公益目的事業3に掲げる事業は次により行った。

### (1) 事業の目的

岡山県下で開催される理工学に関する学術研究集会、学術講演会等に対し、その開催経費の一部を補助し、研究活動を支援することを目的とする。

### (2) 助成対象の研究集会

イ) 学協会及びその支部が主催するもの。

岡山県下で開催される学会、シンポジウム、研究会、講演会、公開セミナー講習会等。

ロ) 公知された懇話会、研究会等が主催するもの。

ハ) 財団が認める組織が主催するもの。

### (3) 学術研究集会、学術講演会の助成実績

次の研究集会 16 件について、82.5 万円の助成を行った。

研究集会名	主催団体	世話人
電気加工懇話会 第 69 回例会	電気加工懇話会	岡山大学 岡本康寛
電子情報通信学会 環境電磁工学研究会	電子情報通信学会 環境電磁工学研究専門委員会	岡山大学 豊田啓孝
第 55 回歯科基礎医学会学術大会・総会	歯科基礎医学会	岡山大学 滝川正春
有機地球化学シンポジウム	日本有機地球化学会	岡山大学 山中寿郎
日本機械学会 2013 年次大会	一般社団法人 日本機械学会	岡山大学 富田栄二
有機合成化学協会中国四国支部 支部 設立 40 周年記念講演会	有機合成化学協会中国四国支部	岡山大学 高井和彦
第 2 回シンポジウム「生命科学に取り 組む異分野の融合と交流の推進 スー パーコンピュータ「京」と生命科学」	岡山大学	岡山大学 妹尾昌治
第 45 回秋季大会	公益社団法人 化学工学会	岡山大学 加藤嘉英
レーザー学会 第 54 回研究会	一般社団法人レーザー学会	岡山大学 岡田 晃
日本生産管理学会中国・四国支部 支 部研究会	日本生産管理学会中国・四国支 部	岡山大学 柳川佳也
平成 25 年度 (第 64 回) 電気・情報関連 学会中国支部連合大会	電気・情報関連学会中国支部連合 大会 大会委員会	岡山大学 舩曳繁之
賢材研究会平成 25 年度第二回学術・技 術交流会	賢材研究会	岡山大学 岸本 昭
第 15 回関西表面技術フォーラム	表面技術協会関西支部	岡山大学 林 秀考
第 28 回高分子学会中国四国地区若手研 究会	高分子学会 中国四国支部	岡山大学 山崎慎一
第 20 回ヤングセラミストミーティング in 中四国	日本セラミックス協会中国 四国支部	岡山大学 三宅通博
第 10 回子ども学会議 (日本子ども学会 学術集会)	日本こども学会	岡山県立大学 渡辺富夫

#### 4. 産学官連携事業の助成

公益目的事業 4 に掲げる事業は次により行った。

##### (1) 事業の目的

岡山県下の大学、研究機関、企業、行政等で構成される理工学に関する研究会等に対し、その経費の一部を補助し、研究活動及び産学官連携の促進を支援することを目的とする。

##### (2) 助成対象の研究会等

財団が設置を認めた産学官連携研究会等

(3) 産学官連携研究会等の助成実績

2件 11万円

5. 学術交流推進助成事業

公益目的事業5に掲げる事業は次により行った。

(1) 事業の目的

岡山県下における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

(2) 事業の概要

学術交流推進助成の対象

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額
学術交流 推進事業	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	万円 50
	岡山大学 特命教授	尾坂 明義	新規歯科用セラミックスの開発	50
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	250
	岡山大学 教授	藤井 達生	磁性酸化鉄材料の研究開発	20
	中国職業能力 開発大学校 教授	平島 隆洋	マイクロ波大電力計測システムの 構築	80
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	50
	川崎医科大学 教授	加来 浩平	血管内皮細胞生理活性因子による 内臓肥満抑制の分子基盤解明と新 規治療法の探索	300
	川崎医科大学 教授	原田 保	CDDP 内耳障害における病態の解明	100
	中国職業能力 開発大学校 教授	平島 隆洋	マイクロ波大電力計測システムの 構築	20
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	50
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	100
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	50
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	30
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	100
	岡山大学 教授	木股 敬裕	自己集合性ペプチドゲルの高度医 療への応用研究	150
中国職業能力 開発大学校 教授	平島 隆洋	マイクロ波大電力計測システムの 構築	50	

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額
学術交流 推進事業	岡山大学 教授	藤井 正浩	表面改質の高機能化に関する研究	30
	中国職業能力 開発大学校 教授	平島 隆洋	マイクロ波大電力計測システムの 構築	20
	計		18件	1,500

#### 6. 学術的研究成果並びに先端学術情報等の普及の促進

定款第4条(3)(4)に掲げる事業は次により行った。

##### (1) 学術的研究成果及び学術情報の普及

学術研究助成者による講演会を開催。

岡山大学工学部研究年報、工学部紀要、並びに(公財)岡山工学振興会ニュースを企業に提供。

ホームページ (URL: <http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>) に掲載

##### (2) ANNUAL REPORT OF THE OKAYAMA FOUNDATION FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY

(公財)岡山工学振興会年報の発行と配布

学術研究助成者の研究成果報告等の報告にもとづき、ANNUAL REPORT を毎年発行し、県下の大学、研究機関及び企業に配布した。

#### 7. 地域企業等との連携・交流事業

定款第4条(5)(6)に掲げる事業は次により行った。

##### (1) 岡山ロボット研究会の開催

##### (2) 岡山新材料技術融合フォーラムの開催

##### (3) 「ほっと交流会」の開催

#### 8. 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄 附 者	申込金額 円	領収金額 円	備考
学術研究助成	杉本クリニック	500,000	500,000	
	(株)ジーシー研究所	500,000	500,000	
	アポットバ <sup>®</sup> スチューレンジャパン(株)	2,500,000	2,500,000	
	DOWA エフテック(株)	200,000	200,000	
	(株)エム・イー・エル	800,000	800,000	
	西条愛寿会病院	500,000	500,000	
	(医)赤穂中央病院	3,000,000	3,000,000	
	(医)赤穂中央病院	1,000,000	1,000,000	
	(有)MIZOUE PROJECT JAPAN	200,000	200,000	
	アクテリオンファーマシューティカल्ズ <sup>®</sup> ジャパン(株)	500,000	500,000	
	国立循環器病研究センター心臓血管内科	1,000,000	1,000,000	
	テルモ(株)	500,000	500,000	
	(医)創始 竹本病院	300,000	300,000	
	塩野義製薬(株)	1,000,000	1,000,000	

	(株)メニコン	1,500,000	1,500,000	
	(株)ダイヘン	500,000	500,000	
	みゆき工産(株)	300,000	300,000	
	(有)MIZOUE PROJECT JAPAN	200,000	200,000	
	(有)トラスティクルー	500,000	500,000	
	合 計	15,500,000	15,500,000	

## 2 重要な契約に関する事項

「該当なし」

## 3 正味財産増減の状況及び財産の状況

(単位：千円)

	平成 22 年 3 月期	平成 23 年 3 月期	平成 23 年 10 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期
経常収益合計	59,851	139,426	11,109	19,848	36,470
経常費用合計	74,278	50,922	21,198	18,724	42,174
当期正味財産増減額	△9,869	64,783	△41,168	25,717	93,425
資産合計	267,811	334,201	292,661	318,762	412,455
負債合計	2,470	2,798	2,427	2,811	3,079
正味財産	265,341	331,403	290,234	315,951	409,376

## II 法人の課題

「該当なし」

## III 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

監事 2 名を置いて、理事の職務執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成することとしている。

## IV 株式保有している場合の概要

内山工業株式会社株券を研究助成基金として寄附を受け、その運用益を公益事業の財源として使用している。

## V 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

「該当なし」

## 事業報告の附属明細書

- 1 定款に定める事業内容について補足すべき重要な事項  
「該当なし」
- 2 事業の状況について補足すべき重要な事項
  - (1) 岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業  
理工学分野の基礎及び応用研究であって、研究者が単独又は複数の研究者が同一の研究課題について共同で行うものを助成対象とする
  - (2) 国外で開催される国際研究集会等派遣の助成事業  
外国で開催される理工学分野の先端技術に関する国際研究集会で、国際的に権威のある学会、学術団体又は学術研究機関等が主催するものを助成対象とする
  - (3) 岡山県内で開催される学術研究集会及び学術講演会の助成事業  
岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与する先端技術に関する学術研究集会を助成対象とする
  - (4) 岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業  
理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専、公的研究機関、行政及び企業に所属する者で構成された研究会を助成対象とする
  - (5) 岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成  
岡山県下の研究機関等に所属する研究者等で、理工系の基礎及び応用研究又はこれらに関わる学術集会等を助成対象とする
- 3 許認可について補足すべき事項  
「該当なし」
- 4 事業の実施状況についての補足すべき事項  
「該当なし」
- 5 役員会等に関する補足すべき事項  
「該当なし」
- 6 正味財産増減の状況並びに財産の増減の推移についての補足すべき事項  
「該当なし」